

春のお花見会を開催

「すこやか」吉崎さんが大正琴を生演奏

系でんわ

大正時代の文化に触れる

4月6日(土)にグリーン丈六で大正琴の演奏を伴う「お花見会」を開催し、多くのご利用者やご家族が春を満喫しました。

花見会ではポランティア「すこやか」の皆様による大正琴の演奏が催され、「花かげ」(祇園小唄)



→大正琴の生演奏の様子

発行所

グリーン丈六
広報委員会

徳島市丈六町
山根51番地

グリーン丈六の桜が開花

入所者とご家族が運動場を散策

日本の花見は奈良時代の貴族の行事が起源だといわれています。昔の農民は、お米を作る田んぼに「田の神様」がいると考えていたそうです。寒

い冬の間は山へ行き、あたたかい春になると村へ帰ってくる信じられていたようです。そして、春になって桜が咲くと、農民たちは「田の神様が

帰ってきた」と考え、桜の木の下に集まって、神様におもてなしをしたことが、お花見の始まりと言われています。

当施設も開設28年目を迎え、多くの方々に支えられています。「当施設にも神様がいる」と考えると、この春の季節に職員一同、一旦心を整えて、また良き1年を過ごせるようしっかりと「お祈り」する事が大切ではないかと思えます。

(事務部 犬伏 卓也)



など春にぴったりの心地良い音色を会場全体に響かせ、利用者の方々も演奏に合わせて一緒に歌を口ずさみながら楽しみました。



からリクエストがあった「さくら」を演奏してくださり、沢山の笑顔があふれました。

また昼食は花見弁当を召し上がって頂きました。皆様いつもと違うメニューに舌鼓を打ちながら笑顔満開の楽しい昼食となりました。

行事予定

- 4月 1日 (月) 入社式
- 3日 (水) 生花クラブ
- 6日 (土) 花見会/大正琴
- 27日 (土) すこやか倶楽部
- 5月 3日 (金) しょうぶ湯
- 4日 (土) 端午の節句
- 8日 (水) 生花クラブ

- 11日 (土) 母の日イベント
- 21日 (火) 県老健施設大会
- 29日 (水) BLS研修



演奏終了後、敷地内にあるグリーン丈六の桜を見学される方もおられ、とても充実した一日になった事だと思えます。今後も施設行事を通じて「思い出作り」や「季節感」を多く感じていただけるよう努めて参りたいと思っております。

(介護部 羽方 誠)

筋力トレーニング

最近では、スポーツジムで筋力トレーニングを行い、プロポーションの維持・改善を行うことに再び注目が集まっています。筋肉には関節を一つ



跨ぐ一関節筋と関節を二つ跨ぐ二関節筋があります。前者は重力に抵抗する筋で、後者は運動の制御に作用しています。そのため長期間の臥床が継続した場合、単関節筋の萎縮が激しく、二関節筋を主に

→施設内の桜を鑑賞する利用者とそのご家族



今回は「菜の花」と「桜」、そして「蝶」を作成しました。菜の花はお花紙で作成しましたが、紙がとても薄いため、それらを貼り付ける作業に

通所だより

(リハビリテーション部 谷岡 龍一)

使っている場合が多いと言われています。このような患者さまに対しては、一関節筋の筋力向上を目的にリハビリ内容を検討していきます。

グリーン丈六でもご利用者様個々にあったリハビリ内容を考え、皆様のサポートをさせて頂いております。リハビリ担当にお気軽にご質問いただけたら幸いです。

一番時間を要しました。しかし、根気よく利用者様同士、協力をしながら一つ一つ作業で作りに上げていくその姿に「見習うべき姿勢」が垣間見えた瞬間でもありました。同様に、満開の桜の木

→貼り絵の制作風景(通所リハ)



も作成に時間を要しましたが、個別に花びらを張り付ける「びと手間」を加える事ですいぶん立派なものに仕上がったと思います。

また蝶は、大きいほうが目立って良いと考えていましたが「小さい蝶や紋白蝶もいるんちゃうぞ」とのご意見を頂き、すぐに採用しました。

この「糸でんわ」を皆さんが読まれる頃には、グリーン丈六の運動場の桜も満開になっていると思います。来設された際には是非、お立ち寄りください。

(通所リハビリテーション 網本 康恵)

新入職員のご紹介

須賀 章公 (言語聴覚士)

言葉&食事のリハビリスペシャリストです。皆様のお役に立てるよう頑張ります。

遠藤 泰弘 (作業療法士)

田岡病院の「咲くらリハビリセンター」から参りました。「二期一会」をモットーにグリーン丈六の入所者様、通所リハビリ利用者様、訪問リハビリ利用者様に寄りそったサービスを提供できるように頑張ります。

大谷 麻由美 (介護士)

小松島西高校で学んできた事を活かし、精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

